

【取組内容③】 クラウド×反転学習～見通しを持ち、協働的な学びの充実に向けて～

授業中に議論したり、クリエイティブな活動をするための時間を確保するために、家庭学習で授業の一部分(主に導入、基礎的・基本的な内容)を映像教材や動画などであらかじめ学習した上で授業に臨む、「反転学習」の取組みを実践した。

家庭学習課題（自宅などで学習）

- 動画を視聴する
 - ・ 教員作成動画
 - ・ NHK for School
 - ・ You Tube など
- 実験・観察を行う
 - ・ 星や月の観察
 - ・ 身近な植物の観察 など
- 教科書の文章等を読む
 - ・ 国語や道徳等の教材を読む
 - ・ 感想を記入する など
- コンテンツに取り組む
 - ・ 教科書会社等のコンテンツに取り組む
 - ・ ARのパーツを作成する など

家庭学習を出す際の工夫

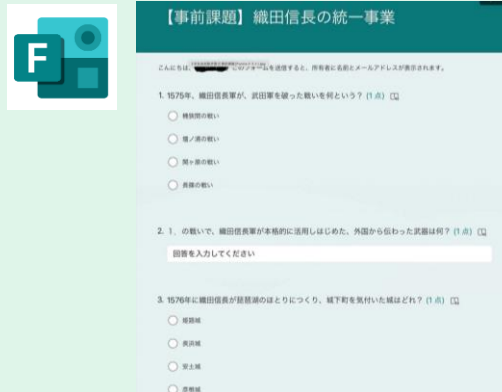
- OneNote、PowerPoint等で学習内容をまとめさせることにより、リアルタイムで学習の取り組み状況を把握するとともに、生徒間での効果的な共有化も図る
- Forms等による小テストやアンケートにより、アウトプットの場を設定しつつ、生徒個々の理解度を把握・確認する

学校の授業

- 家庭学習課題で学んだことをもとに
 - ・ 議論する
 - ・ 創造する
 - ・ ディベートする
 - 発展的な内容を学習して深める
 - 応用問題や演習問題に取り組む
- ⇒アウトプット中心の授業スタイル



Temas（クラウド）で家庭学習課題を伝える。



Formsにて一人ひとりの家庭学習課題の理解状況を事前に把握しておくことで、理解度を踏まえた授業ができる。



家庭学習課題で事前に学んだことをもとに議論したり、まとめ直したりするなど、アウトプットの質的な向上も見られた。